10-100599 (57) [Abstract]

[Problem] To offer a garden decoration using optical fibers to display a garden at night decoratively and dramatically.

[Solution] Increasing the decorative value of a garden during the peace of the night through skillful use of darkness and brightness requires computation so as not make the garden too dark or too bright. Therefore, from several tens to several hundreds of thin optical fibers (1) are used, and these optical fibers are fixed to nets (2) formed of synthetic resin and placed in strategic locations in the garden.

Except for light emitters (3) of optical fibers (1), the part up to the nets is concealed by moss, undergrowth, pebbles, or the like so as not to detract from the natural beauty of the garden during the daytime. The optical fibers are bound together from the concealed backside of optical fibers (1), brought to a light source, and fixed. A 100 V household power source or solar cells combined with a storage battery may be used as the power source for the light source.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-100599

(43)公開日 平成10年(1998)4月21日

(51) Int.Cl. ⁶		識別記号	F I		
B44C	5/08		B 4 4 C	5/08	A
F 2 1 S	1/00		F 2 1 S	1/00	G
G 0 2 B	6/00	3 3 1	G 0 2 B	6/00	3 3 1

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全3頁)

(21)出願番号	特顯平8-292231	(71) 出願人	596026800
			有限会社林造園
(22)出顧日	平成8年(1996)9月28日		群馬県群馬郡群馬町棟高600—16
		(72)発明者	林 喜代弘
		,	群馬県群馬郡群馬町棟高600-16

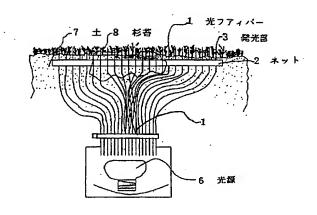
(54) 【発明の名称】 光フアィバーの庭園装飾

(57)【要約】

【課題】夜間の庭園を装飾的または幻想的に演出する 為、光フアィバーを使用した庭園の装飾を提供するもの である。

【解決手段】庭の暗と明を巧くつかい、しっとりとした 夜間の庭園に装飾的価値をあたえるには、明るすぎない また暗すぎない演出が必要で、そのためには細い光フアィバー(1)を数十から数百以上までを使用し、それを 合成樹脂をネット状(2)としたものに取りつけ庭園の 要所、要所に設置する

また日中においては、庭園本来のよさをそこなわないように、光フアィバー(1)の発光部(3)をさけネットまでの間を、苔または下草または小石等で、目隠しをする。また光フアィバー(1)の目隠しをした裏側より光フアィバーをとじて光源までもっていき固定する。そして光源の電源は、家庭用電源100V、または太陽電池に蓄電池を組合せたものを使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】イ. 合成樹脂をネット状(2)とし光ファィバー(1)を取りつけた。

1

ロ. 光フアィバー(1)の発光部(3)をさけネットまでの間を、苔または下草または小石等で、目隠しをする。

ハ. 合成樹脂をネット状(2)とし光フアィバー(1)を取りつけたものを、庭園の要所、要所に設置する。 ニ. 光フアィバー(1)の目隠しをした裏側より光フア

ホ. 光源の電源は、家庭用電源100V、または太陽電池に蓄電池を組合せたものを使用する。

以上の如く構成された光フアィバーの庭園装飾

ィバーを結束して光源までもっていき固定する。

【請求項2】合成樹脂をネット状(2)としたものの代わりに、金属性ネット(4)とした、請求項1の光ファィバーの庭園装飾

【請求項3】合成樹脂をネット状(2)としたものの代わりに、硬質のスポンジ(5)とした、請求項1の光ファィバーの庭園装飾

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、夜間の庭園を装飾的または幻想的に演出する為、光フアィバーを使用した庭園の装飾に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来、夜間の庭園は外灯およびスポットライト等で演出がされていたが、庭としての装飾的価値を見いだすにはいたらなかった。また、夜間の庭園に装飾的価値を見いだす為の工夫はほとんどなかった。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】本発明は従来の欠点を解決するために夜間の庭園に装飾的価値をあたえるには庭の暗と明を巧くつかい、しっとりとした庭園作りを課題として研究をすすめた。

[0004]

【課題を解決するための手段】庭の暗と明を巧くつかい、しっとりとした夜間の庭園に装飾的価値をあたえるには、明るすぎないまた暗すぎない演出が必要で、そのためには細い光フアィバー(1)を数十から数百以上までを使用し、それを合成樹脂をネット状(2)としたものに取りつけ庭園の要所、要所に設置する

また日中においては、庭園本来のよさをそこなわないように、光フアィバー(1)の発光部(3)をさけネットまでの間を、苔または下草または小石等で、目隠しをする。また光フアィバー(1)の目隠しをした裏側より光フアィバーをとじて光源までもっていき固定する。そして光源の電源は、家庭用電源100V、または太陽電池に蓄電池を組合せたものを使用する。本発明は、以上の構成よりなる光フアィバーの庭園装飾である。

[0005]

【発明の実施の形態】本発明を使用するときは、日が陰てから光源に電源を入れると光フアィバー内を通り発光部より数十から数百位が発光し、しっとりとした明るすぎないまた暗すぎない光の演出ができる。また光フアィバーの本数にひらきがあるのは、庭園の規模および設計によるものである。また日中においては、庭園本来のよさをそこなうことなく光ファィバーは、苔または下草または小石等で目隠しされる。

[0006]

10 【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

イ. 合成樹脂をネット状(2)とし光フアィバー(1)をはさみ込み固定、またわ結束バンド等で取りつけた。ロ. 光フアィバー(1)の発光部(3)をさけネットまでの間を、日中の間、光フアィバー本体がめだたないよう、苔または下草または小石等で、目隠しをする。

ハ. 合成樹脂をネット状(2)とし光フアィバー(1) を取りつけたものを、庭園の要所、要所に斜めまたわ平 らに設置する。

二. 光フアィバー(1)の目隠しをした裏側より光フア20 ィバーをじゃまにならぬように、結束して光源までもっていき固定する。

ホ. 光源の電源は、家庭用電源 1 0 0 V、または太陽電池に蓄電池を組合せたものを使用する。これは庭園の規模および様式により使い分ける。

本発明は、以上の構成よりなりたっている。本発明を使用するときは、日が陰てから光源に電源を入れると光ファイバー本体内を通り発光部より数十から数百位が発光し、しっとりとした明るすぎないまた暗すぎない光の演出ができる。また光ファイバーの本数にひらきがあるのは、庭園の規模および設計またわ様式によるものである。また日中においては、庭園本来のよさをそこなうこ

る。また日中においては、庭園本来のよさをそこなうことなく光フアィバーは、苔または下草または小石等で目隠しされる。よつて本発明では、庭園本来のよさをそのままいかせる。また、光フアィバーの光に、光度の変化をあたえる、またわ光の色を変えるなどをするとよりおもしろく楽しめる。さらに光の色をうすい緑色にすると光苔が、輝くように見え情緒ゆたかである。ほかに、図3、図4に示すように、合成樹脂をネット状(2)としたものの代わりに、金属性ネット(4)としても硬質のスポンジ(5)としても同様の効果がある。

[0007]

【発明の効果】本発明を使用することによって、夜間の庭園は、ほとんど楽しむところがなかったのが、庭の暗と明を巧くつかうことが出来るようになり、しっとりとした庭園の演出ができて、装飾的価値をあたえることができるので、夜間でも庭園を見て楽しめるようになった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の側面図

50 【図2】本発明の使用状態を示す斜視図

【図2】本発明の金属性ネットを使用した実施例を示す 斜視図

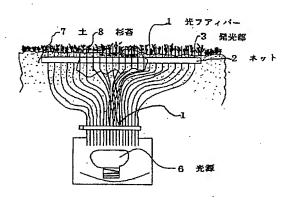
【図2】本発明の硬質のスポンジを使用した実施例を示す斜視図

【符号の説明】

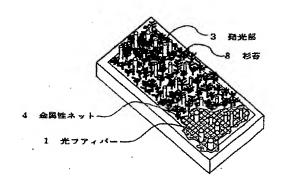
- 1 光フアィバー
- 2 ネット

- 3 発光部
- 4 金属性ネット
- 5 硬質のスポンジ
- 6 光源
- 7 土
- 8 杉苔

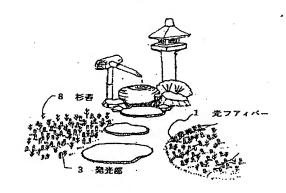
【図1】



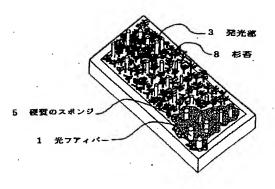
【図3】



[図2]



[図4]



【手続補正書】

【提出日】平成8年12月10日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の側面図

【図2】本発明の使用状態を示す斜視図

【図3】本発明の金属性ネットを使用した実施例を示す ` 斜視図

【図4】本発明の硬質のスポンジを使用した実施例を示す斜視図

【符号の説明】

- 1 光フアィバー
- 2 ネット
- 3 発光部
- 4 金属性ネット
- 5 硬質のスポンジ
- 6 光源
- 7 土
- 8 杉苔